

令和4年度交通安全講話（令和4年4月21日実施）



1年生と2年生を対象に、日本損害保険協会から横井信之先生を講師としてお迎えし、交通安全講話を体育館で実施しました。講話では、「自転車に巻き取りリスクと問われる責任」というタイトルで、「明るい未来へ TRY 自転車事故への備え」を資料としたパワーポイントを使い、身の回りに起こりうるリスクの対処方法とリスクへの備えの1つである保険の機能と役割をわかりやすく説明していただきました。予期せぬ事故や災害に見舞われたとき、経済的な備えとして保険が大切だと教えていただきました。また、自転車事故への対処法を考えながら自転車乗用中に起こりうるリスクに対してどんな備えをするべきかを知ることができました。どの生徒もいつどこで事故に巻き込まれてしまうかもしれないので、実際によく起こる自転車事故のパターンについてもしっかりと認識することができました。以下は、生徒の感想です。

- 自転車事故を起こすと多額の賠償金を請求されてしまうことがあると知り、自分の運転を見直さないといけないと思った。
- 学校への行き帰りで、見通しの悪いところや細い道などをしっかりと理解して安全な運転を心掛けたい。
- 保険の大切さを改めて知り、自分を守るためにも家族と話をして必要な保険に入るべきだと知った。
- 自分の不注意で相手の人生を変えてしまうこともあるので、安全運転には十分気をつけたい。
- 事故を起こす若者がとても多いことを知って驚いた。